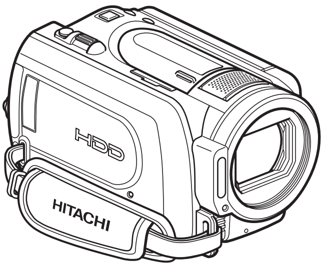
取扱説明書

Wooo

HITACHI
Inspire the Next

DZ-HD90 形



安全にお使いいただくために

はじめに

カード／バッテリーパックについて

撮る

見る

いろいろな撮影テクニック

編集する

他の機器で見る

ライターとつないで使う

パソコンと接続する

その他

SD HDMI™

このたびは、日立ハードディスクカメラをお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。
同梱の CD-ROM を開封する前に必ず P.167 をお読ください。

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

さっそく使いましょう

PRINTED WITH SOY INK™
この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

⚠警告 安全にお使いいただくために

P.133 ～ 138 もあわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

↓

「安全にお使いいただくために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1 年に 1 度は、電源コードに傷がないか、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラや AC アダプター／チャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに「ご相談窓口」にお問い合わせください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら煙が出たら ➡

1. **電源を切る**
2. **AC アダプター／チャージャー、バッテリーパックを外す**
3. **「ご相談窓口（エコーセンター）」に連絡する**

裏表紙に「ご相談窓口（エコーセンター）」の連絡先があります。

■ 注意事項の記載方法

本書では、本機を安全にお使いいただくためにご注意いただきたいことを、3 段階に分けて記載しています。

⚠危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重傷 *1 を負う危険が差し迫って生じることが想定される事項を説明しています。

⚠警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重傷 *1 を負う可能性が想定される事項を説明しています。

⚠注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害 *2 を負ったり、物的損害 *3 が発生したりする可能性が想定される事項を説明しています。

*1 重傷：失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
*2 傷害：治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど（高温・低温）、感電などを指します。
*3 物的損害：家屋、家財、および家畜、ペットに関わる拡大損害を指します。

■ 重要な説明を示す記号

重要な説明が一目でわかるように、以下に示す記号を使用しています。

⚠	「注意」していただきたい内容を示します。
禁止	してはいけない「禁止」行為を示します。
分解禁止	「分解禁止」を示します。
ぬれ手禁止	「ぬれた手で扱うことを禁止する」ことを示します。
水ぬれ禁止	「水にぬらすことを禁止する」ことを示します。
風呂、シャワー室での使用禁止	「風呂場やシャワー室などでの使用禁止」を示します。
❗	「強制」記号です。必ず実行していただきたいことを示します。
	コンセントから必ず「電源プラグを抜く」ことを示します。

この英文は、米国の UL 規格に基づき安全上の注意を記載するものです。

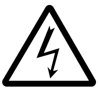
Important Information

WARNING :	**To prevent fire or shock hazard, do not expose this unit to rain or moisture.**

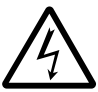
WARNING :	**Danger of explosion if battery is incorrectly replaced. Replace only with the same or equivalent type.**



Identifications of caution marks



This symbol warns the user that uninsulated voltage within the unit may have sufficient magnitude to cause electrical shock. Therefore, it is dangerous to make any kind of contact with any inside part of this unit.



This symbol alerts the user that important literature concerning the operation and maintenance of this unit has been included. Therefore, it should be read carefully to avoid any problems.

CAUTION : TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT OPEN.
NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE.
REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.

Avoid using and storing the battery pack in places subject to direct sunlight, high temperatures, or near a flame source.

In addition to the careful attention devoted to quality standards in the manufacture of your video product, safety is a major factor in the design of every instrument. But, safety is your responsibility too.
This page lists important information that will help to assure your enjoyment and proper use of the camcorder and accessory equipment.

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

In addition to the careful attention devoted to quality standards in the manufacture of your camcorder, safety is a major factor in the design of every instrument. But, safety is your responsibility too. This page lists important information that will help to assure your enjoyment and proper use of the camcorder and accessory equipment.

1 Read these instructions.

2 Store these instructions for convenient accessibility.

3 Heed all warnings.

4 Observe all instructions.

5 Do not use the camcorder near water.

6 Clean the camcorder using only a dry cloth.

7 Do not block any ventilation openings. The camcorder should be placed in accordance with manufacturer's instructions.

8 Do not place the camcorder near heat sources such as radiators, heat-registering areas, stoves, or other heat-generating apparatus (including amplifiers).

9 Protect the mains lead and cord from being walked on or pinched, particularly at the plugs, the mains, and at connection points to the camcorder.

10 Only use the attachments and accessories specified by the manufacturer.

11 Use the camcorder only with a cart, stand, tripod, bracket, or table specified by the manufacturer or sold with the camcorder. When using a cart to move the camcorder, use caution to avoid injury from tip-over.

12 Unplug the camcorder during lightning storms or when unused for long periods of time.



S3125A

13 Refer all servicing to qualified servicing personnel. Servicing will be required when the camcorder is damaged in any way, such as if the mains lead, cord, or plug is damaged, liquid is spilled or foreign objects fall into the camcorder, the camcorder is exposed to rain or moisture, does not operate normally, or is dropped.

14 Do not drip or splash liquids onto the camcorder or place the camcorder near objects filled with liquid such as vases.

15 Use the equipment (AC adapter/charger) near the mains with easy accessibility.

もくじ

「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください（P.2、133）

他の機器で見る 78

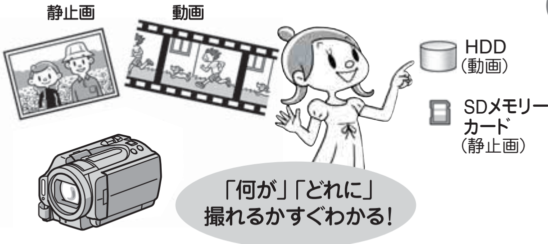
ライターとつないで使う 82

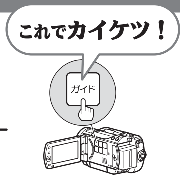
パソコンと接続する 98

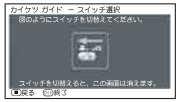
その他 114

こんなことができます

撮る！ 動画も静止画もこれ一台で!!





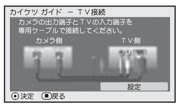


撮ったら

見る！ テレビにつないで大画面で!!



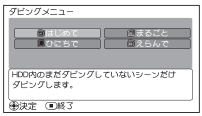


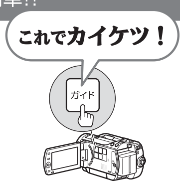


見たら

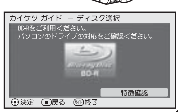
残す！ 保存ディスク選びもプレゼントも簡単!!







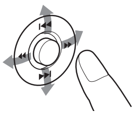
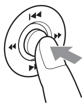
パソコンまたは対応ライター（ドライブ　市販品）をご利用ください。



本書の見かた

ジョイスティックの表記について

ジョイスティックは、上下左右に動かしてメニューの項目やシーンを選び、まん中を押して決定します。

操作	本書での表記
 上下左右で選択	⏮ ／ ⏭ ／ ⏪ ／ ⏩ 上／下／左／右
 中央で決定	[決定]（決定ボタン） 決定する

- 画面に表示される項目の選択には、[⏪] ／ [⏩] ／ [⏭] ／ [⏮] などを使いますが、手順説明では、「▶」のマークを使って省略しています。操作がわからない場合は、「メニュー操作について」（P.45）をご覧ください。

ボタンの表記について

本文、手順にあらわれるボタンは、名称を [　] で囲んで、ボタンであることを示しています。
例：[見る] を押す

メディアの表記について

本機の機能は、使用するメディアによって、使用できる機能に制限があります。ご使用になるメディアがその機能に対応しているかどうかは、以下のような見出し上のマークで識別してください。

HDD カード BD-RE BD-R R

使用できる機器	メディアの種類	マーク	メディア
本機	HDD	HDD	内蔵ハードディスク（HDD）
	カード	カード	SD メモリーカード miniSD メモリーカード (専用アダプターが必要です) microSD メモリーカード (専用アダプターが必要です)
対応ライター（ドライブ市販品）	ブルーレイディスク Blu-ray Disc BD	BD-RE	12cmBD-RE（繰り返し録画用ブルーレイディスク）
		BD-R	12cmBD-R（1 回録画用ブルーレイディスク）
	DVD	R	12cmDVD-R

※ お使いになれる BD-RE/BD-R/DVD-R のメーカー名や型番は限られる場合があります。推奨ディスク（動作確認済みディスク）についてはライターの梱包箱や取扱説明書、ライターの製造メーカーのホームページなどでご確認ください。

本書内の画面について

本書に記載されている画面表示は、メッセージ表示を省略しております。
画面のメッセージ表示については、実際の画面でご確認ください。

ご使用の前に － 必ずお読みください －

試し撮りをしてください

- 大切な撮影前には必ず試し撮りをして、正常に記録されるかどうかを確認してください。

振動衝撃のご注意

- アクセスランプ (P.12) が点灯している間は、強い振動や衝撃を与えないでください。特に、撮影終了後もしばらくランプが点灯していますので、ご注意ください。

撮影した映像の補償はできません

- 本機やカードの不具合により、正常に記録されなかったり、再生できなくなった記録内容の補償はご容赦ください。また、お客様が撮影された映像や音声に関しても、当社は一切責任を負いません。
- お客様または第三者が本機やカードの使いかたを誤ったりしたとき、録画した内容が消失することがあります。録画した内容の消失による損害の補償については、ご容赦ください。
- 本機の修理をした場合に、録画した内容が消失することがありますが、当社では一切責任を負いません。

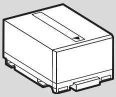
著作権にご注意ください

- 実演や興業、展示物などは、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

付属品の確認

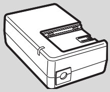
箱を開けたら、付属品がすべてそろっているか、必ず確認してください。

バッテリーパック（型番：DZ-BP14S）



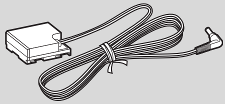
本機の充電式バッテリーです。充電してからお使いください。

AC アダプター／チャージャー（型番：DZ-ACS3）



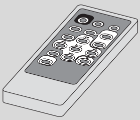
家庭用コンセントから電源をとるときに使用します。バッテリーパックを充電するときにも使用します。

DC パワーコード



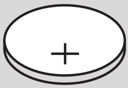
家庭用コンセントから電源をとるときに、本機と AC アダプター／チャージャーとを接続します。

リモコン（型番：DZ-RM4J）



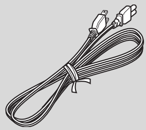
本機を離れたところから操作するときに使用します。

リモコン用リチウム電池（型番：CR2032）



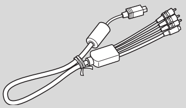
リモコン用の電池です。

電源コード



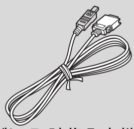
家庭用コンセントと AC アダプター／チャージャーとを接続します。

AV ／ S ケーブル



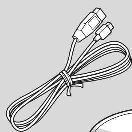
本機の映像／音声をテレビで見るときや、他のビデオ機器に映像／音声を出力するときに使用します。

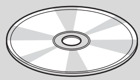
D 端子ケーブル



テレビに D 映像入力端子があるときに使用します。音声出力には、AV ／ S ケーブルを使用します。

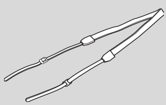
USB ケーブル／ソフトウェア CD-ROM





パソコンと接続するときに使います。

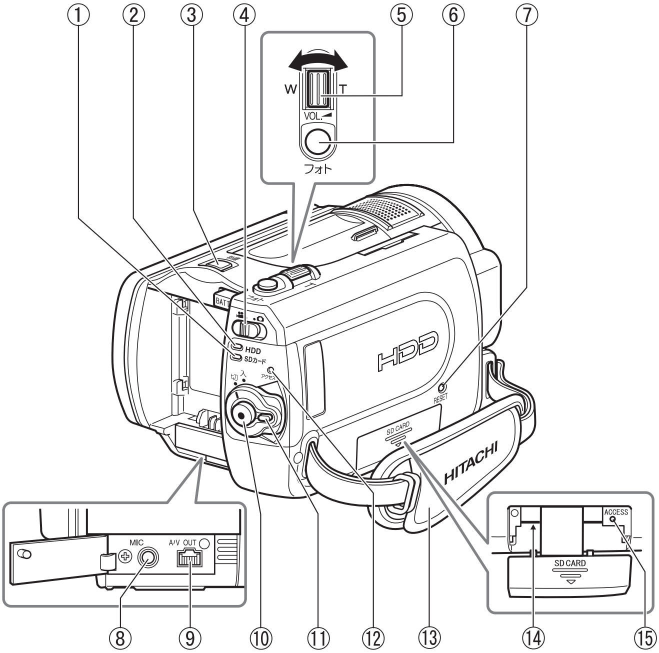
ショルダーストラップ



本機を肩から下げるために取り付けます。

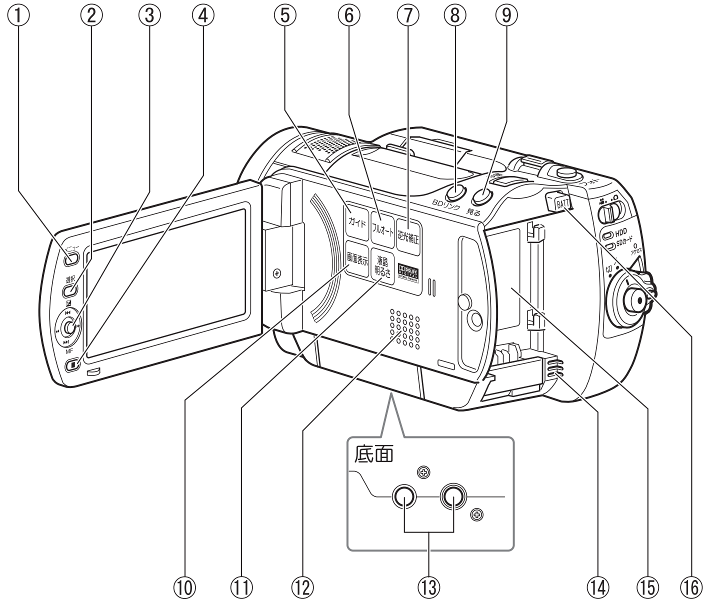
各部の名称

電源スイッチ側



① SD カードランプ（P.22）
② HDD ランプ（P.21）
③ 秒撮ボタン（P.29）
④ 動画／静止画選択スイッチ（P.21）
⑤ ズームレバー（P.40、49、51）
⑥ フォトボタン（P.22）
⑦ RESET(リセット) ボタン（P.158）
⑧ 外部マイク (MIC) 端子 (P.62)
⑨ AV 出力端子（P.79、80）
⑩ 録画ボタン（P.21）
⑪ 電源スイッチ／ロックボタン（P.20）
⑫ アクセスランプ（P.10）
⑬ グリップベルト（P.16）
⑭ カード挿入部（P.22）
⑮ カードアクセスランプ

液晶モニター側（開いたところ）と底面



① メニューボタン（P.20）

② 選択ボタン（P.35）

③ ジョイスティック (P.23)

④ ■ (停止／キャンセル) ボタン (P.35)

⑤ ガイドボタン（P.7）
このボタンを押すと、液晶画面上で、テレビとの接続を誘導しながら教えてくれたり、対応ライターで保存する場合のディスクの選び方のヒントを教えてくれたりします。本書では、このボタンが使える箇所を、吹き出しアイコンで示しています。

［カイケツガイド］使えます！(P.7)

⑥ フルオートボタン（P.58）

⑦ 逆光補正ボタン（P.53）

⑧ BD リンクボタン（P.87）

⑨ 見るボタン（P.23）

⑩ 画面表示ボタン（P.30）

⑪ 液晶明るさボタン (P.18)

⑫ スピーカー

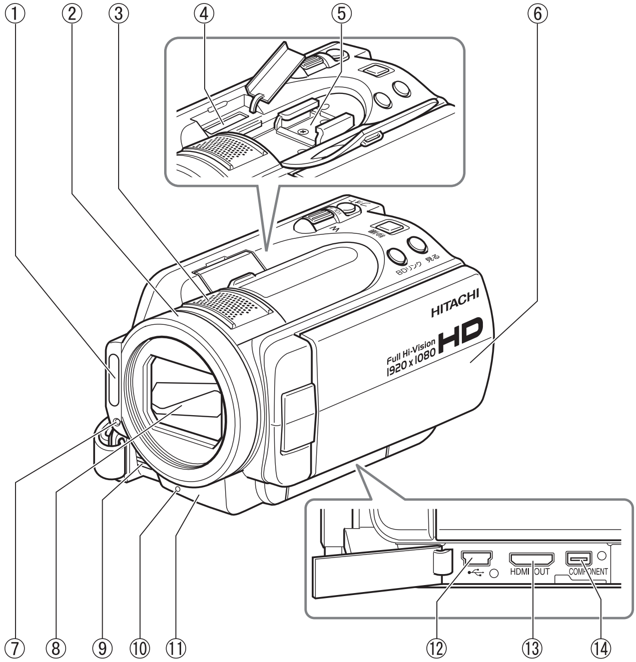
⑬ 三脚ネジ穴
三脚に取り付けるときに使用します。

⑭ 吸気口
内部の温度上昇を防ぐため、冷却用ファンが回ります。お使いのときは、吸気口を手などでおおわないようにしてください。

⑮ バッテリー取付部（P.19）

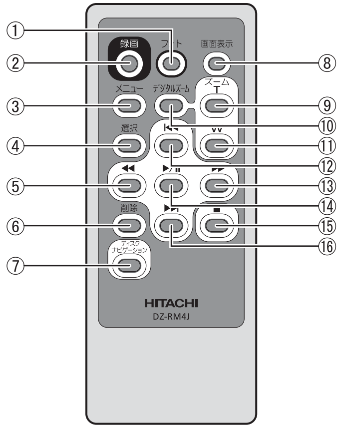
⑯ バッテリーイジェクトボタン (P.27)

レンズ側



① フラッシュ（P.58）
② レンズフード
③ ステレオマイク
撮影時は手などでおおわないように気をつけてください。
④ eSATA 端子（P.82）
⑤ アクセサリーシュー
⑥ ワイドカラー液晶モニター
⑦ 受光センサー
フラッシュの発光量を制御するためのセンサーです。撮影時は手などでおおわないように気をつけてください。
⑧ オートレンズカバー
電源を入れると自動的に開き、光学 10 倍ズームレンズがあらわれます。
⑨ 排気口
内部の温度上昇を防ぐため、冷却用ファンが回ります。お使いのときは、排気口を手などでおおわないようにしてください。
⑩ 録画ランプ（P.28）
⑪ リモコン受信部／赤外線センサー
⑫ USB 端子（P.102）
⑬ HDMI ミニ出力端子（Type. C）（P.78）
⑭ コンポーネントビデオ出力端子（P.79）

リモコン



① フォトボタン（P.22）
② 録画ボタン（P.21）
③ メニューボタン（P.20）
④ 選択ボタン（P.35）
⑤ 逆方向サーチボタン（P.23）
⑥ 削除ボタン（P.71）
⑦ ディスクナビゲーションボタン（P.23）
※本体の［見る］と同じ動作をします。
⑧ 画面表示ボタン（P.30）
⑨ ズーム T ボタン（P.49）
⑩ デジタルズームボタン（P.49）
⑪ ズーム W ボタン（P.49）
⑫ 逆方向スキップボタン（P.23）
⑬ 正方向サーチボタン（P.23）
⑭ 決定ボタン（P.23）
⑮ 停止ボタン (P.35)
⑯ 正方向スキップボタン（P.23）

リモコンに電池を入れる

細い棒などを PUSH の穴に挿入しながら、電池ホルダーを手前に引き出します。

電池の ＋面を下にして入れます。

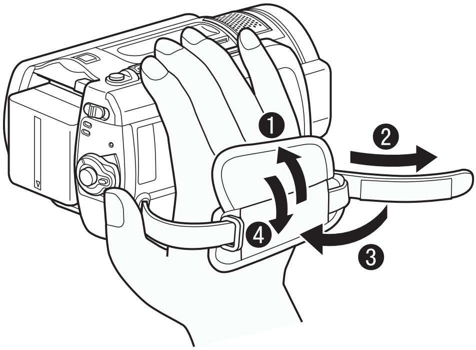
スライドして閉じます。



リモコンから電池を取り出すときは、同じ手順を行い、取り出してください。
※電池の取り扱いに関しては、P.133、135 をご覧ください。

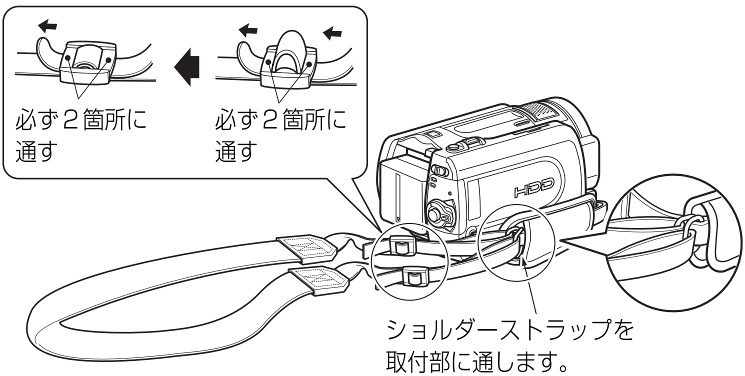
グリップベルトを調整する

グリップベルトを図の順番にしっかりと締めてください。

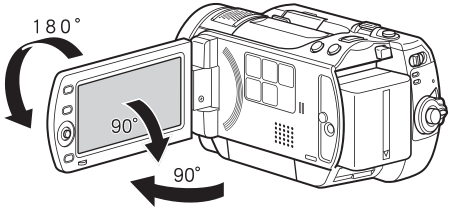


❶ グリップベルトのマジックテープを外す
❷ ベルトをゆるめ、本機の下側から右手を差し入れる
❸ マジックテープを合わせて固定する
❹ グリップベルトのマジックテープを止める

ショルダーストラップを取り付ける

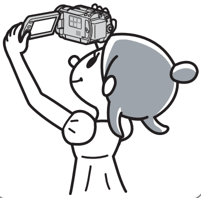


液晶モニターの開きかた

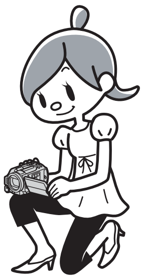


液晶モニターは次のように使えます

高いところや
人越しの撮影を
するとき



小さなお子さんや
ペットの目線で
無理なく撮影



基本姿勢

脇をしめ、動かすときは
ゆっくりと。
ぶれない、効果的な撮影が
できます。



冷却用ファンの吸排気口を
手などでふさがないでくだ
さい。

対面撮影で自分を撮るときは
リモコンを使うと便利です。
(P.18)



再生するときなど



- 明るい屋外など、液晶モニターが見えにくい場合は、液晶モニターの明るさを調整してください (P.18)。

対面撮影時の画面表示について

- 液晶モニターの映像は、鏡のように左右反対に表示されます。
- バッテリー残量表示は、バッテリーの残りがほとんどない状態でのみ表示されます。このときのバッテリー表示は、赤色で点滅します。
- 対面撮影時は、警告／メッセージ表示（P.116）は表示されません。
  対面撮影時に下表の表示が液晶モニターに点灯したときは、180°回転して元に戻すと、警告／メッセージ表示が確認できます。
- 液晶モニターには、以下の動作状態が表示されます。

画面表示	説　明
	● HDD に記録できない状態です。 ● HDD を使って静止画を撮影しようとしています。
	● カードを使って動画を録画しようとしています。 ● 使用できないカードが入っています。
	● HDD がプロテクトされています。 ● カードがロックされています。
	● 記録中 (赤い点灯表示) ● HDD の残量がほとんどありません (赤い点滅表示)。
	● 記録一時停止中 (緑の点灯表示) ● フォーカスロック中 (紫の点灯表示) ● HDD ／カードの残量がほとんどありません (赤い点滅表示)。 ● HDD ／カードの残量がありません (緑の点滅表示)。

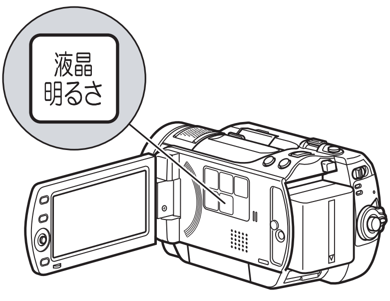
- マニュアルフォーカス、露出、画面表示モードの切り替えは対面撮影時でも可能ですが、画面には表示されません。

液晶モニターの明るさを変える

液晶モニターが暗くて見えにくい場合や、明るすぎる場合に、液晶モニターの明るさを変えられます。

［液晶明るさ］を押すたびに、3 段階に切り替わります。

お買い上げ時は、一番明るい設定です。電源を切っても設定は保存されます。ただし、AC アダプター／チャージャー接続時に電源を入れると、一番明るい設定になります。



準備する

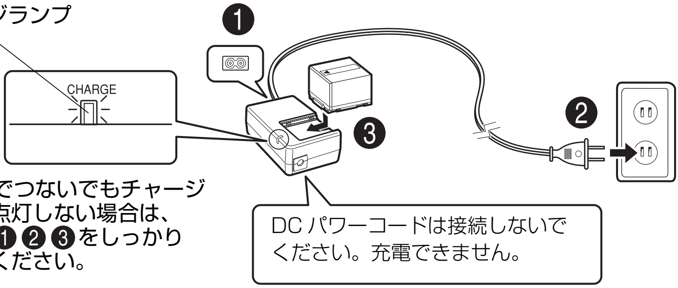
■ バッテリーを充電して取り付ける

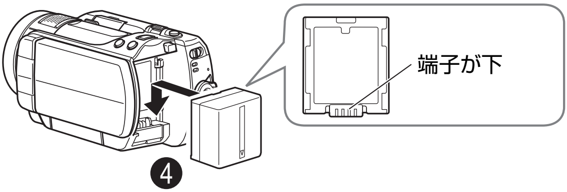
❶ 電源コードを AC アダプター／チャージャーにつなぐ

❷ 電源コードをコンセントに差し込む

❸ バッテリーパックを AC アダプター／チャージャーに取り付ける

❹ バッテリーパックを本機に取り付ける





● バッテリーパックの充電の状態

バッテリーパックの充電状態は、AC アダプター／チャージャーのチャージランプで確認できます。

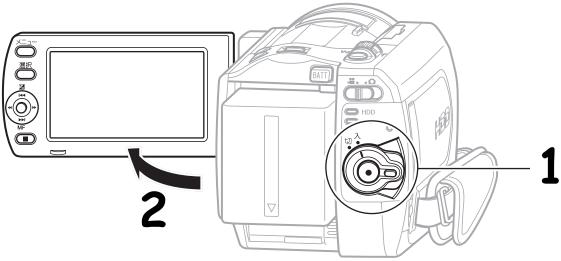
充電の状態	チャージランプ
充電中	点灯
充電完了	消灯

充電時間は P.26 をご覧ください。

ご注意

- 10 ℃～ 30 ℃の環境で充電してください。
- 充電は同梱の AC アダプター／チャージャーをご使用ください。

■ 電源を入れる

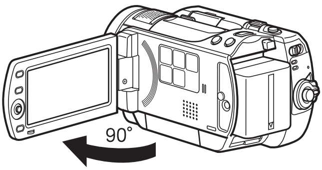


1 電源を入れる

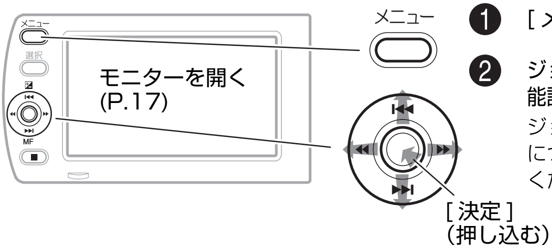


ロックボタンを押しながら「入」に合わせます

2 液晶モニターを開く



■ 日時を設定・確認する（お買い上げ時や久しぶりに使う場合）



❶ [メニュー] を押す

❷ ジョイスティックで「日付機能設定」▶「日付設定」を選ぶ

ジョイスティックの使い方については、P.23 をご覧ください。



❸ 年→月→日→ AM/PM →時→分を ◀◀ ／ ▶▶ で選び、⏮ ／ ⏭ で設定、最後に [決定] を押す

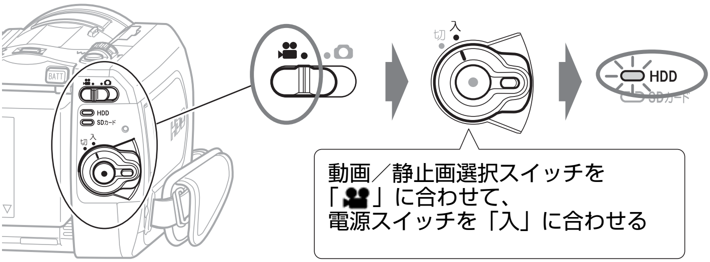
確認画面が表示されます。

❹ 画面に日時が表示されます。

※ お買い上げ時は日時が設定されている場合もあります。

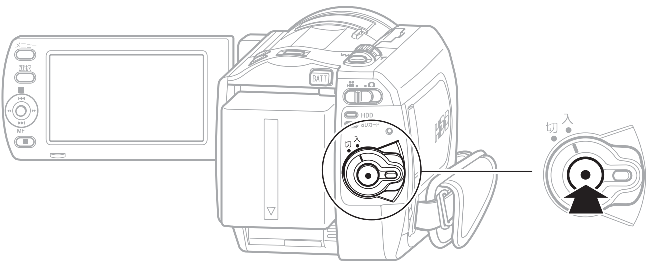
HDD に動画を撮る

1 電源を入れる



このままでも録画できますが、録画画質を変えられます (P.60)。

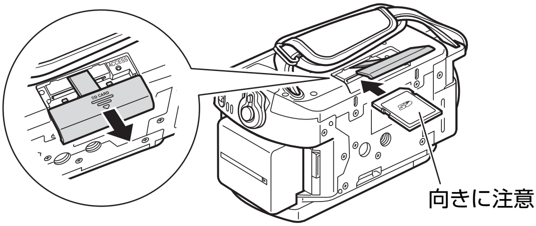
2 録画ボタンを押す



録画が始まります。
録画を止めるときは、もう一度録画ボタンを押します。

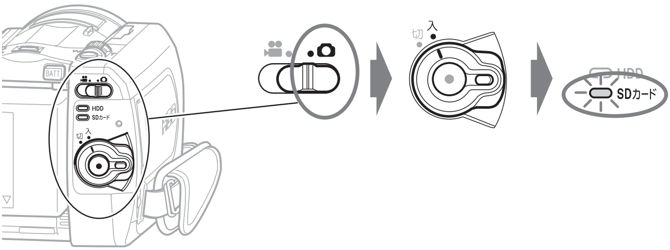
SD メモリーカードに静止画（写真）を撮る

1 SD メモリーカードを入れる

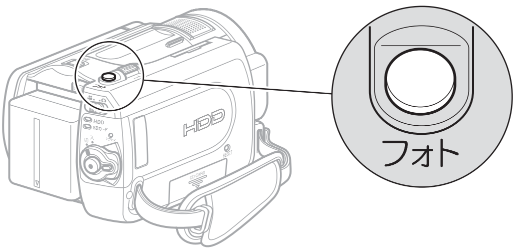


使えるカードの種類については、P.25 をご覧ください。

2 電源を入れる

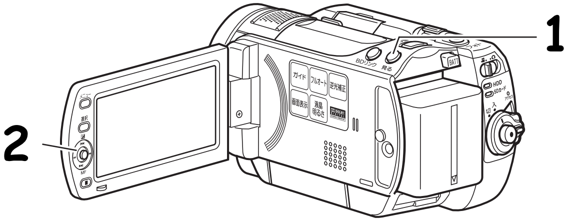


3 ［フォト］を押す



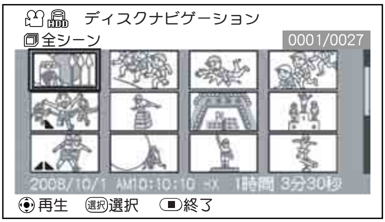
半分まで押すと、ピントが画面中央にある被写体に合います。
完全に押し込むと撮影されます。
（リモコンのフォトボタンを押すと、ピント合わせをした後に撮影が行われます。）

撮影した映像を見る



1 [見る] を押す

2 再生したいシーンを選び、[決定] を押す



選んだシーンが再生されます。

ヒント

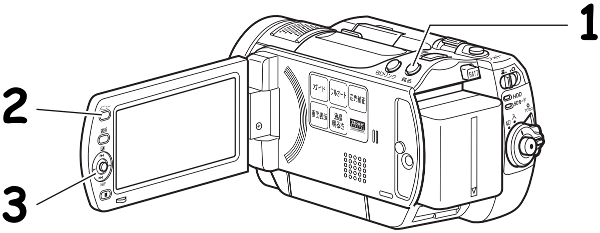
項目を選ぶときは、ジョイスティックを上下左右に動かします。
項目を決定するときは、[決定]（ジョイスティックのまん中）を押します。



テレビにつないで見るには、P.78 をご覧ください。

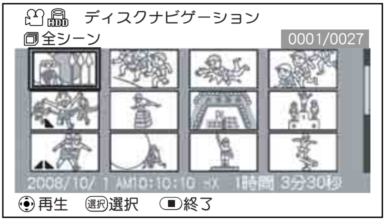
画面の日時表示を消すには、［画面表示］を何度か押してください。

撮影した映像を消す



1 [見る] を押す

2 消したいシーンを選び、[メニュー] を押す



[選択] で複数のシーンを選ぶこともできます。

3 「シーン」▶「編集」▶「削除」を選び、[決定] を押す

4 「はい」を選び、[決定] を押す

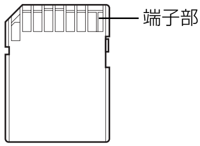


選んだシーンが削除されます。

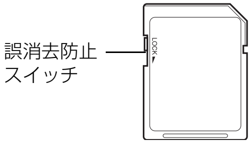
■ 使用できるカード について

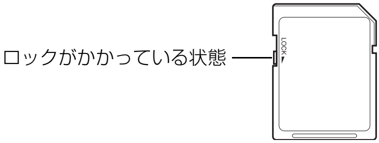
本機で使用できるのは、2GB 以下の SD メモリーカードです。
また､専用のアダプターを使うことにより､miniSDメモリーカードおよびmicro SD メモリーカードを SD メモリーカードとしてお使いいただけます。SDHC カード、マルチメディアカード（MMC）は使用できません。

● カード の扱いかた



- 正規のカード以外は使用しないでください。
- 貴重な映像を記録する場合は、必ず試し撮りをしてください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- ラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外は貼り付けないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下、暖房器具の近くなど、気温の高いところ
  - 湿気、ほこりが多いところ
- 誤消去防止スイッチをロックしておくと、再生はできますが記録や消去、編集ができなくなります。
- カードの出し入れを行う際は、指をそえて行ってください。





■ カード の注意事項

以下の場合はデータが壊れたり､消失したりすることがありますので､注意してください。

- 読み込み中や書き込み中にバッテリーを外したり、カードを抜いた場合
- 強い静電気が発生する場所で使用した場合

■ バッテリーパックのチャージランプと 充電時間

点灯	充電中	充電時間の目安（約 25 ℃の場合）	
消灯	充電完了	DZ-BP14S（付属品）	2 時間 45 分
		DZ-BP14SJ（別売品）	2 時間 45 分
		DZ-BP21SJ（別売品）	3 時間 55 分
点滅	「故障かな…と思ったら」（P.122）		

■ バッテリーパックでの撮影時間

満充電されたバッテリーパックで使用できる時間は、以下の表を目安にしてください。

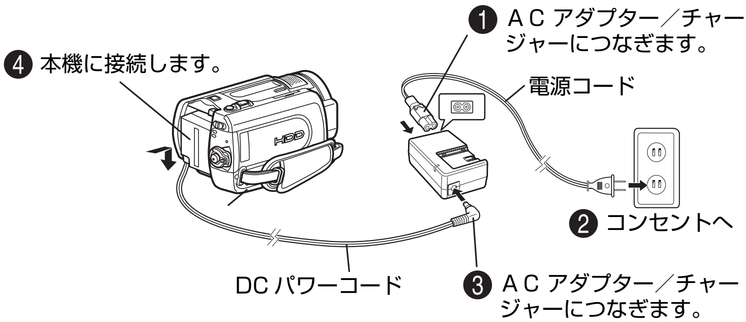
バッテリーの種類	連続撮影時間（液晶明るさが、一番明るい場合）	実撮影時間（液晶明るさが、一番明るい場合）
DZ-BP14S（付属品） DZ-BP14SJ（別売品）	約 1 時間 35 分	約 45 分
DZ-BP21SJ（別売品）	約 2 時間 20 分	約 1 時間 10 分

実撮影時間：ズーム、フォーカス、スイッチの切り換えなどを行なった場合の記録可能な時間をさします。

ご注意

- 気温が低い場所では、使用できる時間は短くなります。
- 表の記載時間は参考値で、実際の撮影条件によって変わります。

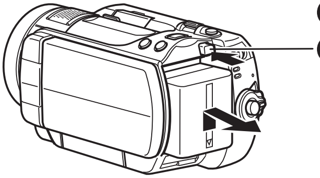
■ 本機をコンセント につないで使う



DC パワーコード接続中はバッテリー充電はできません。

カード／バッテリーパックについて

■ DC パワーコードやバッテリーパックを本機から取り外すには



❶ 電源スイッチを切ってください。

❷ バッテリーイジェクトボタンを押しながら、DC パワーコードの端子、またはバッテリーパックを上にずらします。
落下に注意しながら取り外してください。

■ バッテリーパックを上手に使うために

バッテリーパックは使用していなくても、また本機から取り外していてもわずかに放電しています。本機の使用後は充電をしないで、お使いになる前の日などに充電することをおすすめします。

長期間使用しないときは

半年に 1 回程度満充電し、本機に取り付けた状態で使い切ってから、取り外してできるだけ湿度の低い涼しい場所に再度保管することをおすすめします。
保管時はビニール袋などに入れて、端子がショートしないようにしてください。このとき、金属製ネックレスやクリップなどの金属類と同梱しないでください。

バッテリーパックの寿命について

バッテリーパックは消耗品であり、寿命はご使用の環境や使用頻度によって大きく異なります。満充電したバッテリーパックの使用時間が著しく短くなったら、寿命と考えられます。新しいバッテリーパックをお求めください。

バッテリーパックの廃棄方法

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については
有限責任中間法人　JBRC　　　（2008 年 1 月現在）
ホームページ：http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

Li-ion

パワーセーブとバッテリーの消耗

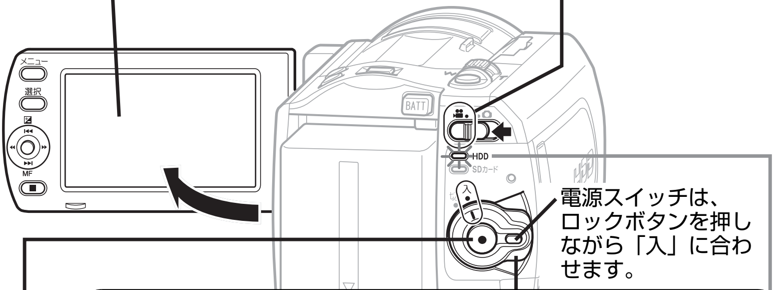
録画一時停止状態のときも、撮影時と同じくらいバッテリーは消耗しますので、撮影時以外はなるべく電源を切るようにしてください。
録画一時停止の状態が約 5 分続くと、自動的に電源が切れるようにパワーセーブを設定することができます。
パワーセーブを設定したり解除する方法は、P.45 ～ 47（パワーセーブ）をご覧ください。

HDD

動画を撮る

1 動画／静止画選択スイッチを、「🎥」にする

2 液晶モニターを開く

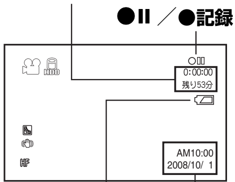


3 電源スイッチを「入」に合わせる

- HDD ランプが点灯し、録画一時停止状態になります。録画は HDD にされます。

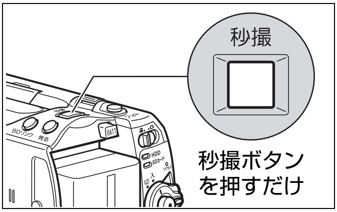
4 録画ボタンを押す

- 液晶画面の「●II」が「**●記録**」に変わり、録画が始まります。
  レンズ下の録画ランプ (P.14) も赤く点灯します。
- もう一度録画ボタンを押すと録画一時停止になり、「●II」が表示されます。
  録画経過時間は「0 : 00 : 00」にリセットされます。
- 録画を再開するときは、再度録画ボタンを押します。



■ 秒撮をつかう

[秒撮]を押して本機を待機状態にすると、バッテリー消費ができるだけおさえられ（通常撮影時の約半分）、再度[秒撮]を押すと、約1秒で録画可能状態になります。秒撮待機中、[秒撮]は青く点灯します。



ヒント

- 電源を入れてから、動画／静止画選択スイッチをスライドさせて静止画 (P.33) に切り替えることもできます。
- 録画中の画面表示について詳しくは、P.30 をご覧ください。
- 動画画質を切り替えることができます (P.60)。
- 以下のようなときは、「故障かな…と思ったら」（P.122）をご覧ください。
  動画の録画ができない、録画するまでに時間がかかる、カメラが動作しない
- 秒撮について
  — 秒撮待機中、録画ボタンを押したり、メディアを切り替えても録画一時停止になります。録画をするには、再度録画ボタンを押します。
  — 秒撮待機から録画一時停止になると、ズーム位置（約 1 倍）、マニュアルフォーカス、露出、逆光補正は初期状態に戻ります（P.49、51 ～ 53）。
  — パワーセーブの設定 (P.45 ～ 47) にかかわらず、秒撮待機が 30 分続くと自動的に電源が切れます。このときは、電源スイッチを「切」に一度合わせたあと、再度「入」にしてください。
- オートレンズカバーが開閉の途中で停止した場合には、電源スイッチを「切」に合わせて、再度電源を入れてください。

ご注意

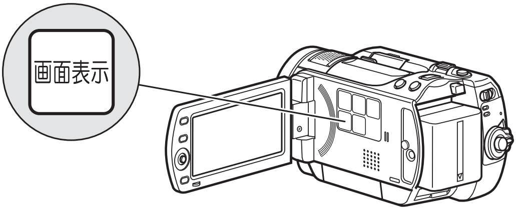
- 録画を終了しても、しばらくの間アクセスランプが点滅しています。アクセスランプの点滅中は電源を切ったり、振動を加えたりしないでください。記録データにエラーが発生し、再生できなくなることがあります (P.132)。
- 動画の最短記録時間は約 3 秒です。録画中、3 秒未満で録画ボタンを押しても、約 3 秒は録画されています。

撮る

■ 撮影時の画面表示について

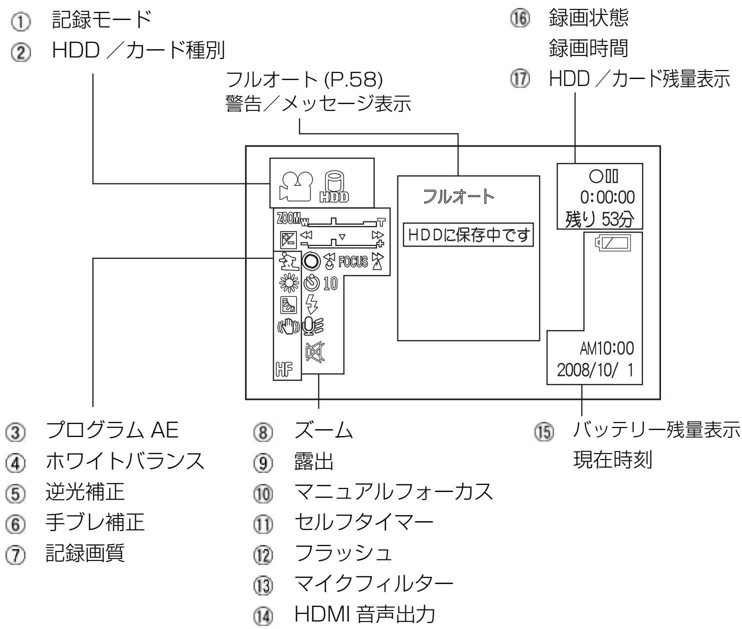
画面表示ボタンの使いかた

液晶モニターには、撮影時のいろいろな情報が表示されます。[画面表示] を押して、すべての情報を表示したり、一部表示にしたりできます。
約 1 分間本機の操作を何もしないと、画面表示が自動的に消えます。もう一度画面表示をさせるには [■]（停止／キャンセル）を押してください。



撮影時の画面表示

詳細については次ページの説明をご覧ください。



※ 上記の画面は説明の例です。実際の表示とは異なります。

撮る

① 記録モード（P.21、22）

: 動画（HDD）
: 静止画（カード）

② HDD ／カード種別（P.25）

: HDD
: プロテクトされた内蔵 HDD
: SD メモリーカード
: ロックされた SD メモリーカード

表示なし [*1]

③ プログラム AE (P.54)

表示なし　: オート
: ポートレート
: スポットライト
: サーフ&スノー
: ローライト

④ ホワイトバランス (P.55)

表示なし　: オート
: セット
: 屋外
: 屋内
: 蛍光灯

⑤ 逆光補正 (P.53)

表示なし　: 逆光補正オフ
: 逆光補正オン

⑥ 手ブレ補正（HDD 使用時）(P.56)

表示なし　: 手ブレ補正オフ
: 手ブレ補正オン

⑦ HD 動画記録画質（HDD 使用時）(P.60)

HX　: 高画質
HF　: 標準画質
HS　: 長時間

⑧ ズーム (P.49)

デジタルズーム：オフ

デジタルズーム：40 倍（HDD 使用時）

デジタルズーム：240 倍（HDD 使用時）

⑨ 露出 (P.53)

表示なし　: オート
: マニュアル

⑩ マニュアルフォーカス (P.51)

表示なし　: オート
: マニュアル

⑪ セルフタイマー（カード使用時）(P.61)

表示なし　: セルフタイマーオフ
: セルフタイマーオン 10 秒よりカウントダウン

⑫ フラッシュ（カード使用時）(P.58)

表示なし　: 自動発光　オート
: 強制発光　オン
: 発光禁止　オフ

⑬ マイクフィルター（HDD 使用時）(P.57)

表示なし　：マイクフィルターオフ

　　　　　：マイクフィルターオン

⑭ HDMI 音声出力 (P.78)

HDMI 接続の場合、再生時以外は本機から音声が出力されません。

表示なし：音声が出力されます

　　　　：音声が出力されません

⑮ バッテリー残量表示 (P.26)



満充電 ⟶ 残量少ない

⑯ 録画状態

◯ 記 録　：記録中

◯▯▯　：録画一時停止中（緑色点灯）
静止画撮影時（緑色点灯）
フォーカスロック（紫色点灯）

表示なし *2

⑰ HDD ／カードの残量 *3

残り○○時間○分 *4：HDD 使用時の残り録画時間（分）

残り○枚 *5　：カード使用時の残り撮影枚数（枚）

＊1：本機では使えないカードが入っていると表示されません。
＊2：プロテクトされた HDD やカードがロックされているとき、HDD ／カードに残量がないときは表示されません。
＊3：プロテクトされた HDD やカードは、残量が表示されません。
＊4：録画できる時間は目安です。撮影条件により異なります。
＊5：表示される枚数は目安です。撮影条件によっては、枚数が減らないことがあります。

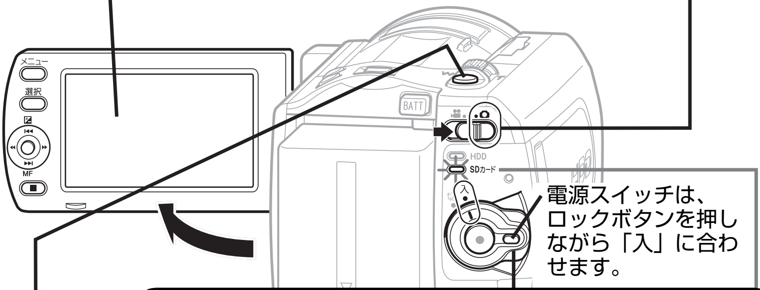
カード

静止画を撮る

静止画は、SD メモリーカードに記録されます。

1 動画／静止画選択スイッチを、「📷」にする

2 液晶モニターを開く



3 電源スイッチを「入」に合わせる

- SD カードランプが点灯します。
- 電源を切るときは、「切」に合わせます。

4 [フォト] を半押しする（軽く押す）

ピントが画面中央の被写体に合い（フォーカスロック）、液晶画面に「●II」が紫色に点灯します。

5 [フォト] を全押しする（奥まで押し込む）

撮影され、しばらくすると撮影された画像が約３秒間表示されます。緑の「●II」が点灯したら、次の撮影ができます。

秒撮

P.29 をご覧ください。

ヒント

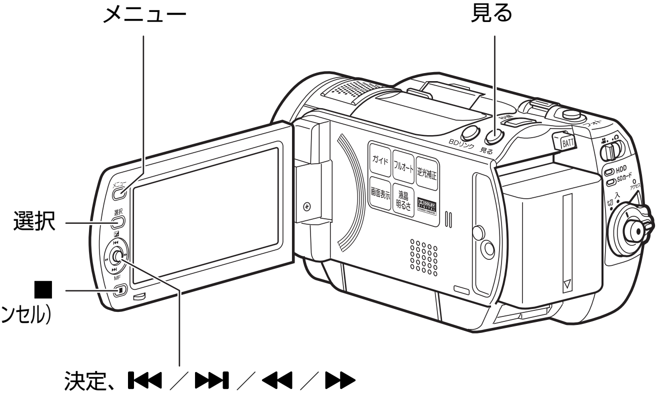
- 電源を入れてから、動画／静止画選択スイッチをスライドさせて動画 (P.28) に切り替えることもできます。
- 撮影中の画面表示について詳しくは、P.30 をご覧ください。
- 被写体を中央に配置しない構図で撮影したいときは、最初に被写体を画面中央で捉えて [フォト] を半押しします。次に、半押ししたまま撮影したい構図を決め、全押しします。
- ピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカスを選択し、手動でピントを合わせてください (P.51)。
- 半押しせず、一度に全押ししても撮影はできますが、ピントが合わないことがあります。
- カード容量と記録枚数については、P.162 をご覧ください。
- 静止画が撮影できないときは、「故障かな…と思ったら」（P.122）をご覧ください。
- 秒撮について
  - — 秒撮待機中、[フォト] を押しても録画一時停止になります。撮影するには、再度 [フォト] を押します。
  - — 秒撮待機から録画一時停止になると、ズーム位置（約 1 倍）、マニュアルフォーカス、露出、逆光補正は初期状態に戻ります（P.49、51 ～ 53)。
  - — パワーセーブの設定（P.45 ～ 47）にかかわらず、秒撮待機が 30 分続くと自動的に電源が切れます。
- オートレンズカバーが開閉の途中で停止した場合には、電源スイッチを「切」に合わせて、再度電源を入れてください。

ご注意

- 撮影後、緑の「●II」が液晶画面に表示されるまでは、バッテリーや AC アダプター／チャージャーを外さないでください。正しく記録されず再生できなくなることがあります。
- 手持ちで撮影するときは映像にブレが生じることがありますので、脇をしめ、両手で本機を支えるようにしてください。
- ズームの倍率を大きくして撮影するときは、本機を三脚などで固定することをおすすめします。
- 液晶画面の映像と、記録映像に差が生じることがあります。

再生する（見る）

撮影した動画や静止画をシーンと呼びます。動画は録画開始から録画一時停止まで、静止画は静止画 1 枚が、1 シーンです。
液晶モニターを使いやすい位置に開いてください (P.17)。



HDD カード

■ 最後に撮影したシーンを再生する

最後に撮影したシーンをすぐに再生できます。

❶ **本機が録画一時停止になっていないときは、再生したいメディアの録画一時停止状態にする（P.28、33）**

❷ **[決定] を押す**

最後に撮影したシーンが再生されます。
動画の場合は最後の場面になると、再生一時停止になり、「▶❙」（最後の場面での一時停止マーク）が表示されます。この状態が 5 分以上続くと、自動的に録画一時停止に戻ります。すぐに録画一時停止に戻すには、［ ■ ］を押します。

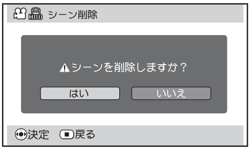
HDD カード

■ 最後に撮影したシーンを削除する

最後に撮影したシーンの再生中か再生一時停止中に、このシーンを削除できます。

❶ ［メニュー］を押す

❷ 「編集」▶「シーン削除」を選び、［決定］を押す



❸ ［◀◀］を押して、「はい」を選び、［決定］を押します。

シーンが削除されます。

- 削除をやめるときは、「いいえ」のまま［決定］を押すか、［■］を押します。
- 削除後、削除中止後は、録画一時停止に戻ります。

ヒント

ディスクナビゲーションから再生したときに［メニュー］を押した場合、「シーン削除」は表示されません。

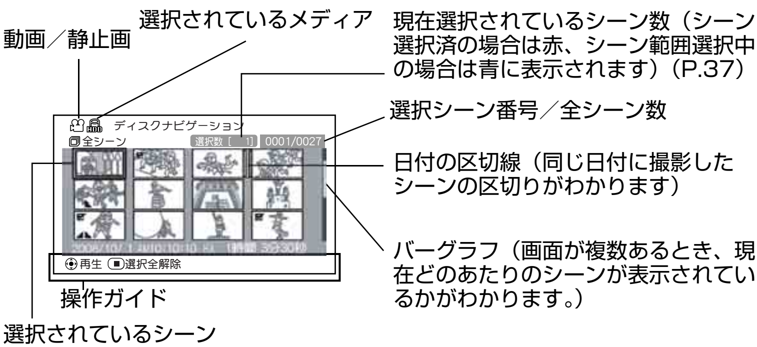
見る

HDD カード

■ シーンを選んで再生する

❶ 再生したいメディアの録画一時停止状態で、［見る］を押す

シーンの一覧（ディスクナビゲーション画面）が表示されます。



❷ **[⏮] ／ [⏭]（上下、前後ページ）／ [◀◀] ／ [▶▶]（左右方向）を押して、シーンを選ぶ**

- 押し続けると、選択が速く移動します。「選択シーン番号／全シーン数」やバーグラフを目安にしてください。

❸ **[決定] を押す**

選んだシーンが再生されます。

最後のシーンの最後の場面で、再生一時停止になり、「▶‖」（最後の場面での一時停止マーク）が表示されます。この状態が 5 分以上続くと、自動的にディスクナビゲーション画面に戻ります。

- すぐにディスクナビゲーション画面に戻すには［ ■ ］または［見る］を押します。
  録画一時停止に戻すには、もう一度［ ■ ］または［見る］を押します。
- 「▶‖」が表示されているときに [決定] を押すと、先頭シーンから再生されます。

HDD カード

■ 複数シーンを選んで再生する

「シーンを選んで再生する」（P.36）の手順❶で、下の表から目的を選んで操作してください。シーン選択後、[決定] を押すと選んだシーンの再生が始まります。

- それぞれをかけ合わせて使うこともできます。
- 999 シーンまで選択できます。
- 操作により、カーソル枠の色が変わりますが、次のことを示しています。
  黄：現在位置、赤：選択済、青：範囲選択中、2 色枠：両方の意味

複数のシーンを個々に選ぶ	[◀◀] ／ [▶▶] ／ [⏮] ／ [⏭] でシーンを選び、[選択] を押す これを繰り返して次のシーンを選びます。
現在のシーンを起点として前後の連続した複数シーンを選ぶ	❶ ［選択］を長押しし、カーソル枠を青くする ❷ [◀◀] ／ [▶▶] ／ [⏮] ／ [⏭] で終点となるシーンを選び、［決定］を押して決定する
現在のシーンから、先頭までのシーンをすべて選ぶ「先頭からカーソル」	❶ ［メニュー］を押し [▶▶] で「シーン」を選び、[⏮] ／ [⏭] で「選択」を選ぶ ❷ [決定］または [▶▶] を押す ❸ [⏮] ／ [⏭] で目的の項目を選んだあと、［決定］を押して決定する
現在のシーンから、末尾までのシーンをすべて選ぶ「カーソルから末尾」	
全部のシーンを選ぶ「全て」	

範囲選択中 (青枠表示中)、操作を中止する	[■] を押す
選択済のシーンを個々に解除する	選択済のシーン (赤) にカーソル枠 (黄) を合わせ、［選択］を押す
選択済のシーンをすべて解除する	[■] を押す

HDD カード

■ 指定した場面へジャンプする

❶ 「シーンを選んで再生する」（P.36）の手順❸の状態（シーン再生中）で、［メニュー］を押す

メニューが表示されます。

❷ [⏮] ／ [⏭] で「ジャンプ」を選び、[⏩] を押す

❸ [⏮] ／ [⏭] でジャンプしたい項目を選ぶ

先頭：先頭にジャンプして、再生一時停止します。

末尾：最後のシーンの末尾にジャンプして、再生一時停止します。

指定：任意の場面にジャンプして、再生一時停止します。詳細は次ページを参照してください。

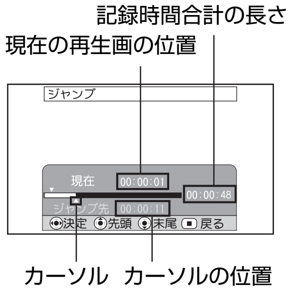
❹ [決定] を押す

● ジャンプ先を指定するには

1

「指定した場面へジャンプする」(P.38)の手順3で「指定」▶[決定]を押す

ジャンプ先指定の画面が表示されます。



2

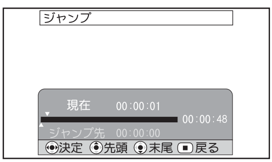
[⏮ / ⏭ / ⏪ / ⏩]で任意の時間を選ぶ

[⏮]：先頭シーンの頭に移動します。

[⏭]：最後のシーンの末尾に移動します。

[⏪ / ⏩]を1回押す：
1分（カードは1枚）単位でカーソルを移動します。

[⏪ / ⏩]を押し続ける：
10分（カードは10枚）単位でカーソルを移動します。



（シーンの先頭を選択した場合）

3

[決定]を押す

指定した位置にジャンプして、再生一時停止します。

- [決定]をもう1回押すと、再生を開始します。

ヒント

- 途中でやめたい場合は、ジャンプする前に[■]を押します。
- カードの場合は、先頭、現在、末尾、ジャンプ先の表示部に枚数が表示されます。

ご注意

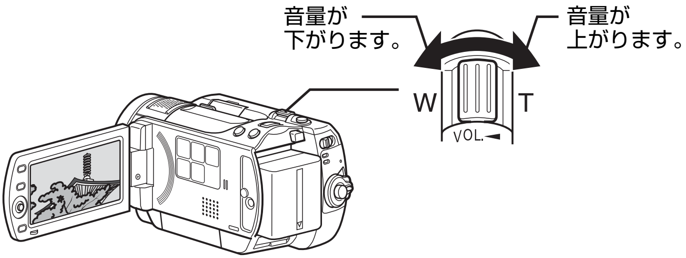
カーソルの位置は目安です。カーソルは同じ間隔で移動しない場合があります。

ご注意

- カードの静止画を再生すると、まず「再生を開始します。」が表示されます。画素数の大きな静止画の場合、シーンが表示されるまでに時間がかかります。
- HDDがプロテクトされているとき、またはSDメモリーカードがロックされているときは、電源を入れると、自動的にディスクナビゲーション画面が表示されます。
- シーンの数が多いと、シーンの再生開始に時間がかかる場合があります。

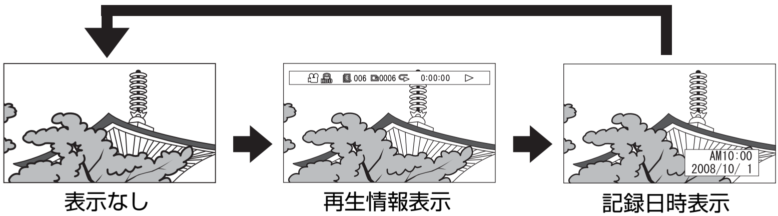
HDD

■ 動画再生中、スピーカーの音量を調節する



■ 再生時の画面表示

再生する映像に重なって、いろいろな情報が表示されます。[画面表示] を押すごとに、以下のように切り替わります。

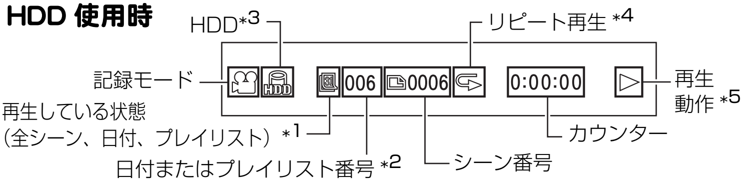


※ 表示の意味については次ページをご覧ください。

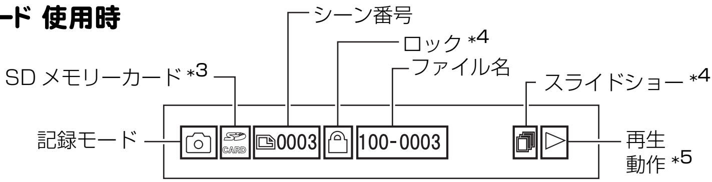
画面表示モード

再生中の状態を表示します。

HDD 使用時



カード 使用時



*1 プレイリスト、日付、または、全シーン

*2 全シーンを再生中は表示されません。
*3 P.31 の「HDD ／カード種別」をご覧ください。
*4 設定されているときに表示されます。(P.43、44、74)
*5 再生動作には以下があります。

▶：再生中 ❚❚：再生一時停止中
▶▶：正方向サーチ再生中
◀◀：逆方向サーチ再生中
▶▶❚：正方向スキップ再生中
❚◀◀：逆方向スキップ再生中
❚❚▶：正方向コマ送り再生中
◀❚❚：逆方向コマ送り再生中
◀❚：正方向スロー再生中
❚▶：逆方向スロー再生中
操作の仕方は次ページをご覧ください。

最初の場面では、❚◀ が表示されます。
最後の場面では、▶❚ が表示されます。

■ 再生中、一時停止中にボタン 1つで操作できる機能

HDD

動画 （再生中）

機能	再生中に押す
一時停止	［決定］
液晶画面に「⏸」（途中場面での一時停止マーク）が表示されます。	
早送り／早戻し	［▶▶］／［◀◀］（押し続ける）
頭出し（スキップ）	［▶▶❙］／［❙◀◀］
［▶▶❙］を押すと次のシーンの頭から、［❙◀◀］を押すと、再生中のシーンの頭から（続けて押すとそのたびにシーンを 1 つずつスキップして）再生します。 • 最初に［❙◀◀］を押したところが最初の場面から数秒のときは、再生中の前のシーンの頭にスキップします。 • 最後のシーンで［▶▶❙］を押すと、最後の場面で再生一時停止となります。	
連続頭出し（連続スキップ）	［▶▶❙］／［❙◀◀］（押し続ける）
再生中の次／前のシーンから、連続頭出しが始まります。見たい場面でボタンをはなします。	

HDD

動画 （再生一時停止中）

以下の機能は、再生一時停止中も、再生中と同様に働きます。ただし、ボタンをはなすと再生ではなく、再生一時停止になります。

- 早送り／早戻し
- 頭出し (スキップ)
- 連続頭出し (連続スキップ)

再生一時停止中にしか働かない機能は以下のとおりです。

機能	一時停止中に押す
コマ送り／コマ戻し	［▶▶］／［◀◀］
押すたびに 1 コマずつ進み／戻ります。 • 音声は出ません。 • コマ送りの間隔は約0.03秒、コマ戻しの間隔は約 0.5 秒です。	
スロー再生／逆スロー再生	［▶▶］／［◀◀］（押し続ける）
• 音声は出ません。 • スロー再生は約 0.03 秒間隔で、逆スロー再生は約 0.5 秒間隔で再生されます。	
連続頭出し（連続スキップ）	［▶▶❙］／［❙◀◀］（押し続ける）
再生中の次／前のシーンから、連続頭出しが始まります。見たい場面でボタンをはなします。	

ご注意

- 本機の内部が高温になると正常に動作しなくなることがあります。一度電源を切り、しばらく待ってから再度電源を入れて操作してください。
- スロー再生では、動きの激しい被写体の画像がブレることがあります。

カード

カード の静止画再生中

機能	再生中に押す
前後のシーンを選ぶ	[▶▶I] [▶▶] ／ [I◀◀] [◀◀]
[▶▶I] または [▶▶] を押すと次のシーンを、[I◀◀] または [◀◀] を押すと前のシーンを再生されます。押し続けると、はなすまで順次再生されます。 • 自動連続再生する、スライドショー機能もあります。	

カード

■ カード の静止画を自動連続再生する（スライド ショー）

スライドショーをオンにして再生すると、静止画が次々に再生されます。シーンの範囲指定がされているときは、その範囲内でスライドショー再生されます。

❶ **ディスクナビゲーション画面 (P.36) で、[メニュー] を押す**

❷ **[I◀◀] ／ [▶▶I] を押して、「再生設定」を選び、[▶▶] を押す**

❸ **「スライドショー」を選び、[▶▶] を押して「オン」を選ぶ**

❹ **[メニュー] を押してメニューを消し、ディスクナビゲーション画面からシーンを選ぶ**

スライドショーが始まります。

HDD

■ 動画から 静止画を 切り 出す（静止画キャ プチャー）

再生中の動画の一場面を、静止画（約 207 万画素）としてカードに保存します。

❶ **再生中、切り出したい場面で [フォト] か [メニュー] を押します。**

[フォト] を押した場合は、手順❹に、[メニュー] を押した場合は手順❷に進んでください。

❷ **[I◀◀] ／ [▶▶I] を押して、「編集」を選び、[▶▶] を押します。**

❸ **「静止画キャプチャー」が選ばれていないときは、[I◀◀] ／ [▶▶I] を押して選び、[決定] を押します。**

❹ **[◀◀] を押して「はい」を選び、[決定] を押します。**

- キャプチャーをやめるときは、「いいえ」のまま [決定] を押すか、[■] を押します。
- キャプチャー完了後、中止後は、再生一時停止になります。

HDD

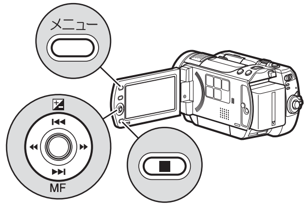
■ 繰り返し再生する（リピート再生）

リピート再生をオンにして再生すると、最後のシーンの再生が終わっても最初のシーンから繰り返し再生されます。
シーンの範囲指定がされているときは（P.37）、その範囲内での再生が繰り返されます。

1. ディスクナビゲーション画面（P.36）で、[メニュー] を押します。
2. [⏮] ／ [⏭] を押して、「その他設定」を選び、[▶▶] を押します。
3. [⏮] ／ [⏭] を押して、「リピート再生」を選び、[▶▶] を押します。
4. [⏮] ／ [⏭] を押して「オン」を選び、[決定] を押して決定します。
5. [メニュー] を押して、ディスクナビゲーション画面に戻します。
6. [決定] を押して、再生します。
   - 再生を終了するには、[■] を押します。（リピート再生はオンのままです。）
   - リピート再生は、以下をすると「オフ」になります。
     — 手順❹で「オフ」を選ぶ
     — 電源を切る
   - 録画一時停止した状態から再生したときは、リピート再生されません。

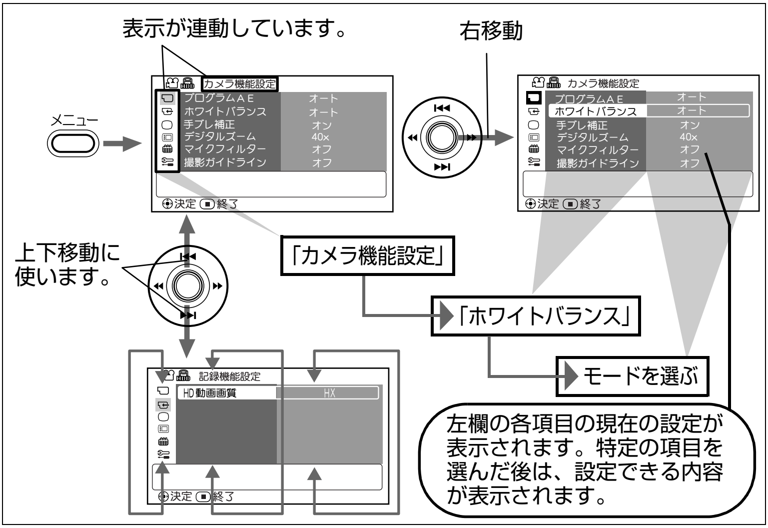
メニュー操作について

「いろいろな撮影テクニック」のうち、多くの機能が、メニューを使います。
メニュー操作の手順は、例えば以下のように記述されています。

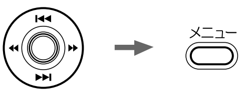


1 [メニュー] を押す

2 「カメラ機能設定」▶「ホワイトバランス」▶モードを選ぶ



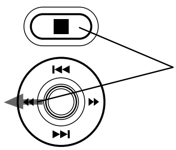
3 [決定] を押し、[メニュー] で終了



※変更をやめるときは、[決定] を押す前に、[メニュー] を押します。

1 つ前の画面に戻るとき

左方向に戻るとき



ほぼ同様に働きます。

メニュー（撮影時、初期設定）

備考：● は動画、静止画共通で、どちらからでも設定可

動画メニュー

メニュー項目（1 階層め）	メニュー項目（2 階層め）	備考	参照先
カメラ機能設定	プログラム AE	●	P.54
	ホワイトバランス	●	P.55
	手ブレ補正		P.56
	デジタルズーム		P.49
	マイクフィルター		P.57
	撮影ガイドライン	●	P.57
記録機能設定	HD 動画画質		P.60
出力機能設定	コンポーネント出力設定	●	P.80
液晶設定	液晶調節	●	P.47
日付機能設定	日付設定	●	P.20
	表示モード	●	P.47
初期設定	操作音	●	P.47
	パワーセーブ	●	P.47
	録画ランプ	●	P.59
	言語切替	●	P.47
	デモモード	●	P.48
	設定リセット	●	P.47

静止画メニュー

メニュー項目（1 階層め）	メニュー項目（2 階層め）	備考	参照先
カメラ機能設定	プログラム AE	●	P.54
	ホワイトバランス	●	P.55
	フラッシュ		P.58
	撮影ガイドライン	●	P.57
記録機能設定	ワイドモード		P.60
	セルフタイマー		P.61
出力機能設定	コンポーネント出力設定	●	P.80
液晶設定	液晶調節	●	P.47
日付機能設定	日付設定	●	P.20
	表示モード	●	P.47
初期設定	操作音	●	P.47
	パワーセーブ	●	P.47
	録画ランプ	●	P.59
	言語切替	●	P.47
	デモモード	●	P.48
	設定リセット	●	P.47

■ 液晶設定と 初期設定について

	メニュー項目		機能説明	初期値
液晶設定	液晶調節	色のこさ	液晶モニターの色のこさを調節できます。	—
初期設定	操作音		オンにすると操作音が鳴り、オフにすると操作音が鳴らなくなります。	オン
	パワーセーブ		オンのときは、録画一時停止で約 5 分間何も操作をしないと自動的に電源が切れます。 オフのときは手動でのみ電源が切れます。	オフ
	録画ランプ		P.59	オン
	言語切替		日本語／英語を切り替えます。	日本語
	デモモード		P.48	オート
	設定リセット		メニューを初期状態に戻します。	—

日時の設定について

手順は、「日時を設定・確認する（お買い上げ時や久しぶりに使う場合）」（P.20）をご覧ください。

ご注意

本機は日付と時刻を記憶しておくための充電式電池を内蔵しています。内蔵電池がなくなると、日付がリセットされてしまいます。6ヶ月に 1 回、本機をコンセントにつなぐか、充電したバッテリーパックを本機に取り付け、24 時間電源を切った状態でおいてください。内蔵電池が充電されます。

年／月／日の表示順序を入れ替えるには

「月／日／年」や「日／月／年」の表示順にすることもできます。（「日／月／年」を選ぶと、時刻表示は 24 時間制になります。）

1. [メニュー] を押す
2. 「日付機能設定」▶「表示モード」▶年月日の表示順序を選ぶ
3. [決定] を押し、[メニュー] で終了

■ デモンストレーション機能について

お買い上げ時は、「オート」に設定されています。

AC アダプター／チャージャーにつないで、本機の電源を入れ、メディアの選択が「HDD」の場合、約 10 分間何も操作しないと、自動的にデモンストレーションが始まります。

また、AC アダプター／チャージャーにつないで、メディアの選択が「SD カード」で SD メモリーカードが入っていない場合も、約 10 分間何も操作しないと、自動的にデモンストレーションが始まります。

- デモンストレーションをキャンセルするには、どれかボタンを押してください。

デモンストレーション機能をオフにしたいとき、すぐ見たいとき

❶ **[メニュー] を押す**

❷ **「初期設定」▶「デモモード」**

以下より設定を選ぶ

オート：上記

オフ：デモンストレーション機能をオフにします。

スタート：すぐにデモンストレーションが始まります。デモンストレーションをキャンセルすると、元の設定 (オートまたはオフ) に戻ります。

❸ **[決定] を押す**

ご注意

- バッテリーパックをお使いのときに「オート」に設定してもデモンストレーションは始まりません。
- パソコンと接続しているときは、デモンストレーション機能は働きません。

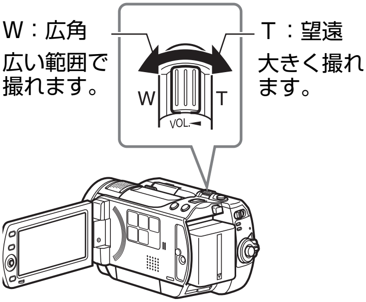
HDD カード

大きく撮る（光学ズームとデジタルズーム）

ズームレバーは倒す方向により以下のように働き、倒し続けるとそれぞれの最大値まで働きます。

ズームレバーを少し倒すとゆっくりズームし、大きく倒すと速くズームします。

光学 10 倍が望遠の最大です。カード使用時（静止画撮影）は、光学ズームのみ働きます。

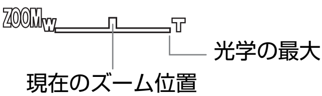


ズームの最大値は、メニューの「デジタルズーム」の設定により、以下のようになります。

デジタルズームの設定

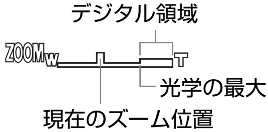
オフ

ズームを使うと、液晶画面に光学ズームバーが表示されます。



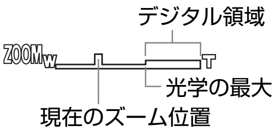
40 ×

光学 10 倍を超えると自動的にデジタルズームになり、望遠の最大が 40 倍になります。ズームバーは、次のようになります。



240 ×

望遠の最大が240倍になります。ズームバーは、次のようになります。



「デジタルズーム」を設定する

1 [メニュー] を押す

2 「カメラ機能設定」▶「デジタルズーム」▶ デジタルズームの設定を選ぶ

3 [決定] で決定後、[メニュー] で終了

- デジタルズームの設定は、 電源を切っても記憶されています。

ヒント

リモコンの [デジタルズーム] を押しても切り替えることができます。ボタンを押すたびに

「オフ」→「40×」→「240×」

に切り替わります。

ご注意

- ズーム操作をしたときに、一瞬ピントがずれることがあります。
- デジタルズームが加わると、画質が粗くなります。
- カード使用時は、デジタルズームが設定できません。

HDD カード

至近距離からの撮影（接写）

小さい被写体を至近距離から撮影するときは、レンズ面に約 2 cm まで近づいて、画面いっぱいに拡大して撮影できます。

接写のしかた

1 **被写体に本機を向け、ズームレバーを W(広角) 側いっぱいにする**

- 接写をするときは光量不足になりがちです。画面が暗いときは、被写体に照明を当ててください。

ご注意

ズームは使用できますが、被写体までの距離により、ピントが合わなくなることがあります。

HDD カード

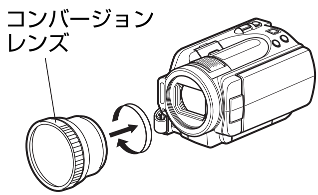
別売のレンズで、より広角に、より望遠で撮影する

テレコンバージョンレンズ DZ-TL43(別売) を使うとより望遠に、ワイドコンバージョンレンズ DZ-WL43(別売) を使うとより広角に、撮影できます。

別売品を選ぶときには、フィルター径 43 mm、ネジピッチ 0.75 mm のものをご使用ください。

別売のレンズの取り付けかた

1 **コンバージョンレンズのレンズキャップを外し、本機に取り付ける**



いろいろな撮影テクニック

ご注意

- DZ-TL43 を装着した場合は、T 端（望遠側）のピントの合う範囲が約3m から無限遠の範囲になります。
- コンバージョンレンズを使用すると、撮影状況によってはホワイトバランスが動作しないことがあります。（ 通常は、ホワイトバランスは自動調整されています。）その場合は、ホワイトバランスを手動で調整してください (P.55)。
- コンバージョンレンズを装着した場合は、ズームしたときに W 側 (広角側 ）で画面の四隅が暗くなったり、欠けたりする場合があります。
  (四隅の暗さは均一ではない場合があります。)
- ワイドコンバージョンレンズを装着し、静止画モードにした場合は、W 側 (広角側) で画面の四隅が暗くなります。少し W 側よりズームを戻してお使いください。
- レンズを交換する際に、本機が落下しないようご注意ください。
- コンバージョンレンズを装着すると、フラッシュは使用できなくなります。「フラッシュ」の設定は「オフ」にしてください (P.58)。
- 市販のコンバージョンレンズは、使用できないものもあります。

HDD カード

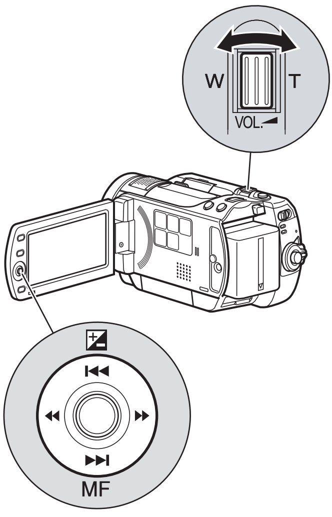
ピントを手動で合わせる (マニュアルフォーカス)

本機のピントは自動で合いますが (オートフォーカス)、「オートフォーカスでピントが合いにくい状況」(P.52) のときは、手動でピント合わせをしてください (マニュアルフォーカス)。

ピント の合う 範囲

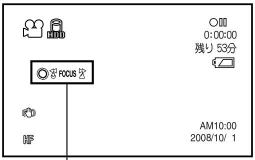
- T(望遠) 側 : レンズ面より約 1m から無限遠
- W(広角) 側 : レンズ側より約 2cm から無限遠

マニュアルフォーカスのしかた



1 録画中、または録画一時停止中に [⏭ （MF）] を押す

液晶画面にフォーカスアイコンが表示されます。



マニュアルフォーカスアイコン

- もう一度 [⏭] を押すと、 オートフォーカスに戻ります。 アイコンはマニュアルフォーカス時のみ表示されます。

2 ズームレバーを T(望遠) 側に動かして被写体を大きく写す

3 [⏪] ／ [⏩] でピントを調整する

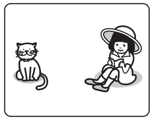
- 電源を切ると、 オートフォーカスに戻ります。
- 手動でピントを合わせるときは、 手順 2 で行ったように、 必ず被写体を大きく写してください。
  W(広角) 側のほうでピントを合わせると、 T 側にしたときにピントがずれることがあります。

ヒント

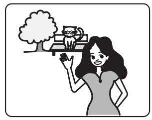
マニュアルフォーカスでピントを調整中に [⏮] を押すと、露出を調整できます。このとき、液晶画面に露出バーがオレンジ色に表示されます。

[⏭] を押すと、マニュアルフォーカスに戻ります。

オート フォーカスでピント が合いにくい状況



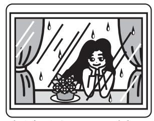
中央に被写体がない



遠くと近くの両方に被写体がある



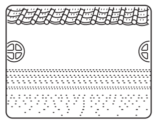
ネオンサインやスポットライトなど、輝いたり、強い光が反射する被写体



水滴や汚れの付いたガラス越しの被写体



動きの速い被写体



白い壁など明暗差がほとんど無い被写体



暗い被写体



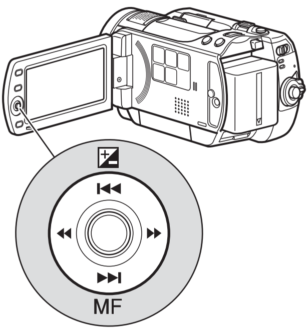
夜景

HDD カード

撮影画像の明るさを調整する（露出）

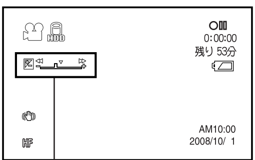
通常は、自動で露出を調整するようになっています。撮影状況に応じて、手動で露出を調整することもできます。

手動露出調整のしかた



1 **録画時、または録画一時停止中に［⏮（ ）］を押す**

液晶画面に露出バーが表示されます。



露出バー

- もう一度［⏮］を押すと、自動調整に戻ります。手動調整時のみバーが表示されます。

2 **［◀◀］／［▶▶］で露出を調整する**

- 電源を切ると、露出は自動調整に戻ります。

ヒント

露出を調整中に［⏭］を押すと、マニュアルフォーカスでピントを調整できます。このとき、液晶画面にマニュアルフォーカスアイコンがオレンジ色に表示されます。

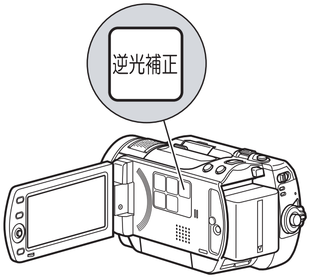
［⏮］を押すと、露出調整に戻ります。

HDD カード

逆光を補正する（逆光補正）

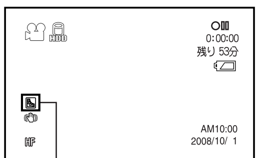
逆光のとき、被写体が暗くならないように補正できます。

逆光補正のしかた



1 **撮影時に、［逆光補正］を押す**

液晶画面に逆光補正アイコンが表示されます。



逆光補正アイコン

- ［逆光補正］を押すたびに、オンとオフが切り替わります。オンのときのみ、逆光補正アイコンが表示されます。
- 逆光補正の設定は、電源を切るとオフに戻ります。

HDD カード

状況に合った撮影モードを選ぶ（プログラム AE）

本機は被写体と周囲の状況を自動で判断し、最適な映像を撮影しますが(オート時)、状況に応じて撮影モードを選べば、より意図した撮影ができます。

撮影モード

オート (表示なし)

ポートレート
人物や生物などを撮影するときに、背景をぼかして、被写体を浮かび上がらせます。

スポットライト
結婚式や舞台など被写体に強い光が当たっているときに、人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。

サーフ＆スノー
真夏の海辺やスキー場など、照り返しの強い場所で人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

ローライト
暗いところで少ない明かりで撮影できるモードです。

撮影モード の選びかた

1 [メニュー] を押す

2 「カメラ機能設定」▶「プログラム AE」▶撮影モードを選ぶ

3 [決定] で決定後、[メニュー] で終了
選んだ撮影モード （オート以外） が液晶画面に表示されます (P.30)。
- 撮影モードは、 電源を切っても記憶されています。

ご注意
- 暗いところで撮影するとき、動きのある被写体や手ブレがある場合、残像が出ます。本機を三脚などで固定することをおすすめします。

HDD カード

色合いを調整する（ホワイトバランス）

被写体を撮影するときには、光が必要になります。人間の目は、見たまま色を認識することができますが、カメラで撮影するときは、目で見ているよりも被写体が赤くなったり、青く写ることがあります。白いものを白く撮るために、ホワイトバランスを調節します。通常は自動で色の調整をします（オート時）。
撮影状況に応じて、ホワイトバランスの設定を変えてください。

ホワイト バランスモード

オート（表示なし）

セット
日没、日の出を撮影する場合、日陰で撮影する場合、スポットライトで照らされている舞台などを撮影する場合など、光源や状況に合わせて、手動で設定できます。

屋外
晴天下での撮影のときに合わせます。

屋内
白熱灯やハロゲンランプ、電球色系蛍光灯などのもとでの撮影のときに合わせます。

蛍光灯
蛍光灯のもとでの撮影のときに合わせます。

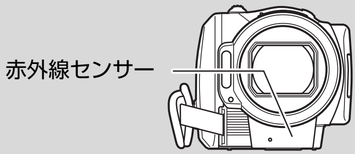
ホワイト バランスのモード の選びかた

1 ［メニュー］を押す

2 「カメラ機能設定」▶「ホワイトバランス」▶ホワイトバランスのモードを選ぶ

3 ［決定］で決定後、［メニュー］で終了
選んだホワイトバランスのモード（オート以外）が画面に表示されます（P.30）。
- ホワイトバランスのモードは、電源を切っても記憶されています。

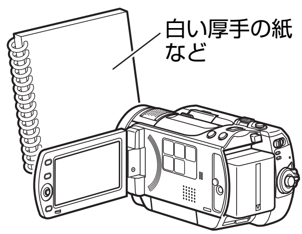
ご注意
良い色あいで撮影するために、赤外線センサーの前を手などでふさがないでください。



■ ホワイト バランスを手動で設定する（セット）

裏が透けない、白い厚手の紙などをご用意ください。

1 画面いっぱいに、白い被写体を映す



2 ［メニュー］を押す

3 「カメラ機能設定」▶「ホワイトバランス」▶「セット」

4 [決定] を押す

液晶画面に、「[icon]」が点滅します。

5 再度 [決定] を押し、そのままはなさず押し続ける

しばらくすると、 点滅している「[icon]」が点灯にかわり、 ホワイトバランスの設定が完了します。

[決定] をはなしてください。

6 終了する場合は [■] を、やり直す場合は再度手順 5 を行う

- 「セット」に設定されたホワイトバランスは、 次に設定し直すまで記憶されています。
- 色合いを正確に合わせるため、 撮影条件が変わるたびに「セット」を設定し直してください。
  注意をうながすため、 ホワイトバランスのモードを「セット」にしたまま電源を切ると、 次に電源を入れたときに液晶画面に「[icon]」が点滅します。 前回の設定は記憶されていますので、 必要に応じて設定し直してください。

ご注意

- 暗い場所ではうまく設定できないことがあります。またズームバーがデジタル領域 (P.49) にあるときは、ホワイトバランスの「セット」の設定ができません。
  ホワイトバランスの設定ができないときは、「[icon]」が点滅したままになります。ズームを光学領域に戻し、明るい場所で設定し直してください。
- 「セット」の設定が完了しないまま、時間が経って録画一時停止に戻った場合は、液晶画面に「[icon]」が点滅しています。 もう一度手順 1 からやり直してください。

HDD

ブレを少なくして撮る (手ブレ補正)

ズームで被写体を大きくして撮ると映像がぶれやすくなりますが、手ブレ補正機能がオンになっていると自動補正されてぶれにくくなります。

本機を台の上に置いたり、三脚を使用する場合は、手ブレ補正機能をオフにして撮影することをおすすめします。

手ブレ 補正をオン 、オフする

1 [メニュー] を押す

2 「カメラ機能設定」▶「手ブレ補正」▶「オン」/「オフ」

3 [決定] で決定後、[メニュー] で終了

「オン」にすると、 液晶画面に「[icon]」が表示されます (P.30)。

- 手ブレ補正の設定は、 電源を切っても記憶されています。
- 「オフ」にした場合、 いつも「オフ」で撮影するのでなければ、 撮影後は「オン」に戻してから電源を切ることをおすすめします。

ご注意

- 手ブレ補正が働いていると実際の動きと画面の動きに若干の差が生じます。
- 手ブレ補正が「オン」になっていても、手ブレが大きすぎると補正されないことがあります。脇をしめ、本機を両手で支えて撮影することをおすすめします。
- テレコンバージョンレンズやワイドコンバージョンレンズを使用しているときは手ブレ補正が正しく動作しないことがあります。
- カード使用時は手ブレ補正を設定できません。
- 撮像素子（CMOS センサー）の画像の性質により、手ブレ補正が働いているときに、被写体がゆがんで見えたり、ブレて見えたりすることがありますが、故障ではありません。「故障かな…と思ったら」（P.122）をご参照ください。

HDD カード

撮影ガイドラインを表示させる

撮影時に、映像の水平と垂直を確認するために補助線を表示させます。構図のバランスを見る目安になります。

撮影ガイド ラインをオン、オフする

1 [メニュー] を押す

2 「カメラ機能設定」▶「撮影ガイドライン」▶「オン」／「オフ」

3 [決定] で決定後、[メニュー] で終了

「オン」にすると、 液晶画面に縦横のガイドラインが表示されます。

HDD

風の音を低減させて撮る（マイクフィルター）

「マイクフィルター」を「オン」にすると、本機の内蔵マイクで録音するときに、風の音を低減させることができます。撮影時にマイクに入る音のうち、低域の部分がカットされるため、対象の音が聞き取りやすくなります。

マイクフィルターをオン、オフする

1 [メニュー] を押す

2 「カメラ機能設定」▶「マイクフィルター」▶「オン」／「オフ」

3 [決定] で決定後、[メニュー] で終了

「オン」にすると、 液晶画面に「」が表示されます (P.30)。

- マイクフィルターの設定は、 電源を切っても記憶されています。
- 「オン」にした場合、 いつも「オン」で撮影するのでなければ、 撮影後は「オフ」に戻してから電源を切ることをおすすめします。

ご注意

外部マイクを使用しているとき、マイクフィルターは働きません。(P.62)

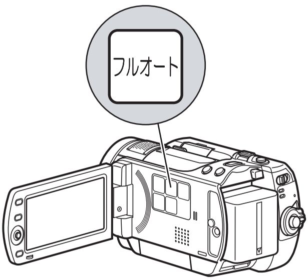
HDD カード

カメラの撮影設定をすべて初期値に戻す（フルオート）

手動調整した以下の撮影設定を、ボタン 1 つで初期値に戻せます。

機　能	初期値	参照先
フォーカス	オート	P.51
露出	オート	P.53
逆光補正	オフ	P.53
プログラム AE	オート	P.54
ホワイトバランス	オート	P.55
手ブレ補正	オン	P.56
マイクフィルター	オフ	P.57

撮影設定をフルオート にする



1 撮影時に、[フルオート] を押す
液晶画面に「フルオート」と数秒間表示され、 設定が初期値に戻ります。

カード

フラッシュを使う

薄暗いところで静止画撮影をする場合、シャッタースピードが遅くなるので手ブレが生じやすくなります。フラッシュの使用をおすすめします。

通常、フラッシュは状況に応じて自動的に発光しますが (オート時)、状況に応じて強制発光 (オン) や発光禁止 (オフ) にすることもできます。

フラッシュ モード

オート
フラッシュが必要かどうか、本機が自動的に判断をします。
フラッシュが発光するときは、[フォト] を半押しすると液晶画面に「⚡」が表示され、全押しでフラッシュが発光します。

オン
常時液晶画面に「⚡」が表示され、全押しすると常にフラッシュがたかれます。

オフ
常時液晶画面に、「⚡」が表示され、発光しません。

フラッシュ モード の選びかた

1 [メニュー] を押す

2 「カメラ機能設定」▶「フラッシュ」▶フラッシュのモードを選ぶ

3 [決定] で決定後、[メニュー] で終了

- 液晶画面内のフラッシュのアイコン位置 (P.30)
- フラッシュの設定は、 電源を切っても記憶されています。
- いつも決まった設定で撮影するのでなければ、「オン」あるいは「オフ」での撮影後は、「オート」に戻してから電源を切ることをおすすめします。

ヒント

- フラッシュを使用しても、薄暗いところではピントが合わないことがあります。暗いところでの撮影では、ライトで被写体に光を当てることをおすすめします。
- フラッシュ充電中は、「ϟ」が点滅します。「ϟ」点滅中は、撮影しても発光しません。
- 静止画を接写するときは、「フラッシュ」の設定を「オフ」にしてください。被写体が近すぎると白とびするおそれがあります。

ご注意

- コンバージョンレンズを装着しているときには、フラッシュを使用できません。「フラッシュ」の設定は「オフ」にしてください。
- フラッシュの使用可能範囲（めやす）は被写体によって異なりますが、暗いところで約1m～2.5m程度です。
- フラッシュは、発光時に自動的に光量を調整しますが、被写体までの距離が遠いときや近いときには、光量調整が十分にできないことがあります。
- 逆光時など明るい場所では、フラッシュ効果が得られにくいことがあります。
- フラッシュを使って連続して撮影すると、フラッシュが発光しなかったり、光量の調整ができないことがあります。フラッシュを使って撮影したあとは、しばらくたってから再び [フォト] を押して撮影することをおすすめします。
- フラッシュを人の目の前に近づけて使用しないでください。目の近くで発光させると視力障害を起こす危険があります。特に乳幼児を撮影するときには 1m 以上離れてください。
- 乗り物の運転者に向けてフラッシュを使用しないでください。運転者に向けてフラッシュを使用すると目がくらみ事故を起こす原因になります。
- 可燃性、爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しないでください。引火、爆発の原因になります。

HDD カード

レンズ下にある録画ランプを消す

レンズ下にある録画ランプを消す (オフにする) ことができます。

録画ランプは、録画中であることをお知らせするため、赤く点灯しますが (オン時)、ガラスごしや水槽などの撮影で赤いランプの反射を防ぐには「オフ」にしてください。

録画ランプのオン、オフのしかた

1 [メニュー] を押す

2 「初期設定」▶「録画ランプ」▶「オン」／「オフ」

3 [決定] で決定後、[メニュー] で終了
- 録画ランプの設定は、 画面情報には表示されません。
- 録画ランプをオフにしていても、 セルフタイマー (P.61) 中は点灯します。

HDD

動画画質を切り替える

動画の記録画質を切り替えて、より高画質で録画したり、画質を抑えてより長い時間録画したりできます。

HDD の動画画質と録画可能時間

動画画質	説明	録画可能時間
HX*	高画質	約 9 時間
HF	標準画質	約 12 時間
HS	長時間	約 18 時間

* 高温の環境では、HF 相当の画質になることがあります。

動画画質の切り替えかた

1 [メニュー] を押す

2 「記録機能設定」▶「HD 動画画質」▶動画画質を選ぶ

3 [決定] で決定後、[メニュー] で終了

設定した動画画質が液晶画面に表示されます (P.30)。
- 動画画質の設定は、 電源を切っても記憶されています。

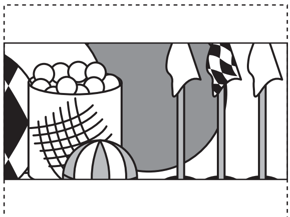
カード

ワイドテレビに対応した静止画を撮る (ワイドモード)

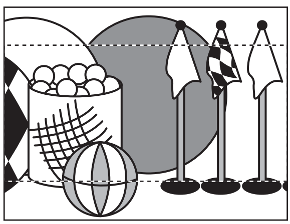
ワイドテレビ (画面比率 16 : 9) でご覧になるときは、ワイドモードを「ワイド (16 : 9) 」にすると、画面比率を変えて撮影することができます (「ノーマル (4 : 3)」時の画面比率は 4 : 3)。

液晶モニターに映し出される映像をワイドモード「ワイド (16 : 9)」のときと「「ノーマル (4 : 3)」のときで比較すると下図のようになります。

ワイドモード「ワイド (16 : 9)」
(画面比率 16 : 9)



ワイドモード「ノーマル (4 : 3)」
(画面比率 4 : 3)



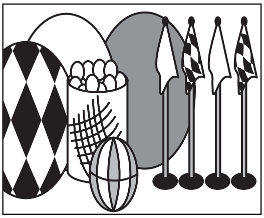
ワイド モード の切り 替えかた

1 [メニュー] を押す

2 「記録機能設定」▶「ワイドモード」▶「ワイド (16：9) 」／「ノーマル (4：3) 」▶ [決定] を押す

3 [メニュー] で終了する

- ワイドモードの設定は、 電源を切っても記憶されています。
- ワイドテレビ以外のテレビでご覧になる場合は、ワイドモード「ノーマル (4：3)」で撮影してください。「ワイド (16：9)」で撮影すると、映像が縦長に再生されます。



- 「ノーマル (4：3) 」で撮影した映像は、 液晶モニターの両端に黒い帯が表示されます。

ヒント
ワイドテレビでご覧になるには「ワイド（16：9)」に、静止画をプリントするには「ノーマル（4：3)」に設定してください。

カード

セルフタイマーを使う

静止画撮影のとき、セルフタイマーを使って撮影できます。

1 [メニュー] を押す

2 「記録機能設定」▶「セルフタイマー」▶「オン」

3 [決定] で決定後、[メニュー] で終了
セルフタイマーが設定され、 液晶画面に「 ⏲10 」が表示されます (P.30)。

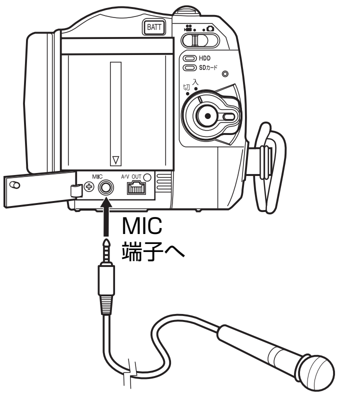
4 [フォト] を半押ししてピントを合わせたあと、全押しします。
「⏲10」→「⏲ 9」→…のようにカウントダウンが始まり、 約 10 秒後に撮影されます。カウントダウン中は、 レンズ側にある録画ランプも点滅します。

- カウントダウンを中止して、「 ⏲10 」に戻すには、 [フォト] か [■] を押します。
- セルフタイマーは、 以下のことをするまでオフになりません。 ([フォト] を全押しするたびに働きます。)
  — メニューでセルフタイマーを「オフ」に設定する
  — 電源を切る
  — 動画撮影に切り替える

HDD

外部マイクを使う

市販の外部マイクを、本機の MIC(外部マイク) 端子に接続して録画すると、よりクリアな音声が記録できます。



- プラグインパワー対応のマイクのみ使えます。
- プラグインパワー型以外のマイクは使用できません。
- 外部マイクのスイッチを入れてから録画を開始してください。
- 外部マイクを接続すると、内蔵マイクは動作しません。